

Fire Lookout の旅

—Idaho 州 McCall の四日間(7月10日~13日)

塩田 弘

アイダホ大学の MFA program (The Master of Fine Arts Creative Writing program) で詩人になるべく勉強している Cindy さんの実家は、大学から車で3時間半くらいの場所に位置する小さな町、McCall にあります。McCall 郊外の深い森を抜け山頂に行くと、以前 Gary Snyder が働いていた Fire Lookout (Sourdough Mountain Lookout) があるということで、Cindy さんに招待していただき、四日間にわたり McCall とその周辺を散策しました。

Fire Lookout とは、山火事をいち早く発見して対処するために山頂に作られた見張り小屋で、アメリカの山林保護に大きく寄与してきただけでなく、Jack Kerouac や Edward Abbey などの多くの作家が Fire Lookout で働いた経験があり、文学的にも重要なものです。

狐や鹿やムースにも遭遇しながら山頂にたどり着くと、7月中旬だというのに雪が残っていました。地域13カ所の Lookout を統括する最高責任者の方に出迎えていただき、大空にそびえ立つ鉄塔の最上部に案内され、そこでの仕事の様子もを見せていただきました。

通常、Lookout では一人で孤独に働いているようですが、この日は同僚の方々が何人も集まっていたいただきました。集まっていた皆さんのために、この場所にちなんだ Gary Snyder の詩、“Mid-August at Sourdough Mountain Lookout”を Cindy さんが英語で朗読し、続いて私も日本語で朗読しました。

このような貴重な体験が出来たのは、Cindy さんのフィアンセ、Caleb さんの人脈のおかげでした。Idaho Forest Service のレンジャーとして働いている彼は、ウィルダネスのことや動植物のことは何でも知っている頼もしいガイドとして、四日間私たちに同行していただきました。



この四日間でもう一つ印象に残ったのは、宿泊した古い小屋でした。1865年に作られたという小屋は、まるで Thoreau の Walden の小屋のようでした。Gurgdorf Hot Spring がそばにあり、温泉にも入ることができました。夜になると電気が無いので真っ暗ですが、刻々と変わる天体ショーを満喫することが出来ました。

